

## 平山小学校外国語実践報告

浜松市立平山小学校 久保田 彩乃

### 1 はじめに

本校では、研修テーマを「自ら学び、思いを表現できる子」として、「子供にとって必要感のある学習活動や言語活動の充実」を中心とした授業構想を練る研修を行っている。外国語活動では、外国語を使うことの抵抗感を少なくし、外国語をもっと知りたい・使ってみたいという内面から湧き出る意欲を引き出す楽しい授業、友達と学んで良かったと思えるような満足感のある授業を目指し、工夫しながら授業づくりを進めている。

### 2 実践

#### (1) 導入

導入の時間では、前時までに学習したことを生かした活動・ゲームを行った。そうすることにより、外国語を使うことに対して抵抗感を持っている子ども、1度やった活動であるので自信をもって安心して活動に取り組むことができた。



#### (2) いろいろなゲーム

子供たちが、外国語での話型に慣れ親しむことができるように、毎時間様々なゲームを行った。

##### ○T シャツゲーム(Hi, friends!1 Lesson5)

前時までに学習した「What color do you like?」「I like blue.」の話型を使って、自分のTシャツのイラストに好きな色の形を描くゲームを行った。2人組になり、じゃんけんをする。負けた子が「What color do you like?」と尋ね、勝った子が「I like blue.」と、好きな色を答える。さらに、負けた子が「What shape do you like?」と尋ね、勝った子が「I like star.」と、好きな形を答える。負けた子が、勝った子のTシャツのイラストにその色の形を描く。この活動を繰り返す。

##### ○アルファベットかるた(Hi, friends!1 Lesson6)

Hi, friends!1 巻末のアルファベットかるたを切り離し、班ごとでかるたを行った。アルファベットを読みあげる教師の声を集中して聞こうとすることにより、「G」と「Z」の違いを聞き分けられるようになった。

#### (3) ALT の活用

今年度からALTが変わり、ニコラス先生になった。ニコラス先生から、故郷のアメリカの話を知ったり、初めて聞く単語の発音の仕方を教わったりした。ニコラス先生の発音を良く聞いて子供たちも正しく発音をすることができるようになってきた。



### 3 成果と課題

ゲームの中で、話型を繰り返すことで、その話型を使うことに慣れ親しんだり、外国語でのコミュニケーションを楽しんだりすることができた。また、学習した話型や単語を活用して、なんとかALTとコミュニケーションをとろうとする子供の姿も見られた。今後、ALTと担任がさらに協力してできるレッスンプランを再検討したい。また、教師が外国語を使うことや外国語の指導に対して抵抗感をもっているため、実践を広めたり、職員間で研修を深めたりしていくことも課題である。